

908 購読のお申し込み
750 0120-026-999
428 配達 集金お問い合わせ
359 03-6910-2556
272 広告のご用命
377 044-245-5881
500

リーグ実況生中継

本日14:30 放送開始!!

7区が1つ
かわさきFM
79.1MHz

川崎フロンターレvsジュビロ磐田

川崎

狂言で生きる力を



和泉流の三宅藤九郎さん

認知症介護施設で教室

川崎市宮前区菅生の認知症高齢者介護施設「バナナ園 生田の泉」(十一月一日オープン)で二十九日、狂言師和泉流の十世三宅藤

九郎さんによる狂言教室が開かれた。ストレス解消やのどを鍛えることで、食べ物や飲み込む力の強化を期待したが、覚えることが苦手なお年寄りが習ったばかりの狂言のフレーズを口ずさむなど、予想以上の効果が出ているという。

(平木友見子)

狂言教室は八月から月一度、来年三月まで全八回行われ、今回は三回目。市内に七カ所ある「バナナ園」の入所者が藤九郎さんと一緒に、狂言小謡「柳の下」を、楽しそうに音程を付けて謡った。

約三十分の教室が終わり、施設バスに乗って各施設へ帰って行く入居者たち。口々に口ずさんでいたのは、覚えただけの「柳の下」だった。

通常、認知症患者は直近の記憶ほど思い出しにくいという。だが、謡う小謡の言葉は正確で、節もきちんと付いていた。同担当者は「小謡の記憶が残っている

予想以上の「奇跡に近い」効果に驚き

「狂言を教えた藤九郎さんも「繰り返して謡うと、声の出し方などが変わってきて、覚えているんじゃないかな」と入居者の変化を実感している。

「生きる力を笑いで表現する狂言の可能性を試してみたい」と教室を開くことを提案した藤九郎さん。「何事も肯定的にとらえる前向きな狂言が、これからも入居者の方たちのカンフル剤になれば」と話していた。

認知症の高齢者を対象にした狂言教室は全国的にも珍しい試みという。

「プロ

2人殺害
選任手

男性二人

として、強
どに問われ
容之被告(三
裁判員裁判
裁が二十九
任手続き。

判員と補充
二人は、死

役かの判断
可能性が高
れなかった

「死刑を言
つらい」「

官が裁くべ
った声の上

関係者ら

強姦致傷
少年に実

地裁裁

女性に乱

してけがを
どとして、

などに問わ
内の塗装工